



# 聖星

浜松聖星高等学校通信 2018年度 No. 4

H30. 6. 29 発行

## ★ 学校長挨拶 — 高大接続システム改革 —

重信 明利

昔、ある人が建築現場で職人に「何をしているのか」と尋ねたら、職人は「レンガを積んでいる」と答えました。しかし、二人目の職人は「壁を造っている」と、違う答えが返ってきました。三人目の職人に聞くと「大聖堂を造っている。神を讃えるために。」と答えました。

アドミッション・オフィス方式という大学入試が行われるようになったのは、まさにこの話に出てくる三人目の職人のような生徒を大学側が求めるようになったからです。

大学全入時代と言われて久しい現代ですが、今後はいくら学力があっても主体性や協働性、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力といったスキルや実績がないと入りたい大学には入れない時代になっていきます。2020年からは始まる高大接続システム改革の目的は、単に「有名大学に入ればいい」という意識が支配的だった受験制度を抜本的に変えていこうというものなのです。

そして、大学生は大学生で本当に真剣に勉強しなければ卒業も進級も、あるいは授業すら受けられない、そういった時代が現実に来るのです。

## ★ ベリタスプラザ “Global” 開催 —6月8日（金/校内発表）9日（土/一般公開）—

今年の“ベリタスプラザ”は前日に雨模様だったりと天気が心配でしたが、一般公開日には晴天に恵まれ1430名を超えるお客様に会場にいただきました。今年度は、聖星高校から世界に目を向け、その知識を深め発信することで異文化と密接になり多様性を認め合うことができるように、との思いをこめ『Global』というテーマにしました。部活展、HR展、1年生の装飾もそれぞれ工夫を凝らし、お客様には世界旅行をした気持ちになっていただけたと思います。また、体育館での舞台発表ではダンス部が卒業生とコラボし大いに盛り上がりました。例年以上に卒業生の来場が多きにぎやかな文化祭となりました。

保護者の皆様のご支援・ご協力にも厚く御礼申し上げます。今後共、どうぞよろしくお願いいたします。



### 夏期保護者面談のお知らせ

1学期の成績を踏まえて、夏期休暇期間に全学年で保護者面談を実施いたします。お子様の生活面や進路についての情報交換の場となれば幸いです。面談日程や場所等の詳細は各クラス担任よりお知らせしますので、ご確認ください。



## ★ 授業参観の御礼・校内英語スピーチコンテスト -6月29日(金)-

本校の教育活動の一端をご覧いただく機会として、授業参観を実施しました。アンケートのご意見は、授業へのフィードバックという形で対応していきます。お越しいただきありがとうございました。

また、放課後には第 62 回校内英語スピーチコンテストもおこなわれました。

## ★ エンパワーメントプログラムについて - 8月20~24日(月~金) -

カリフォルニア大学、有名リベラルアーツカレッジ等の米国トップ大学の学生や東京大学をはじめとする都内の大学・大学院在学の留学生が、本校生徒(1年国際特進コース生 57人) 5~6人に1人ずつ付き、少人数で英語によるディスカッションやミニプロジェクトを行います。外国人教師1名が全体のファシリテーター(進行係)として加わります。

## ★ 夏期補講について

夏期休暇期間中に、主要5科目を中心に各種補講を開講します。日程は以下の通りです。

**前期**(5日間): 7月23日(月)~7月27日(金)

**中期**(5日間): 7月30日(月)~8月3日(金)

**後期**(5日間): 8月20日(月)~8月24日(金)



の行事予定

期末試験に向けて、計画的に勉強しましょう！！



1	日	第1回英語検定2次	19	木	【家庭学習日】
7	土	授業	20	金	【家庭学習日】
10	火	期末試験 <~12日(木)>	21	土	終業式
13	金	スポーツデー・献血	23	月	夏期補講(前期)開始 成績不良者追試(25日まで) アメリカ研修出発(8/7 帰国)
14	土	休日			
15	日				
16	月	【海の日】	28	土	休日
17	火	テスト返却(1日)	29	日	オープンスクール
18	水	テスト返却(4限まで)	30	月	夏期補講(中期)開始



“教員紹介第2回”となる今号では、2学年担当の言葉を掲載します。 ( [ ] 内担当教科)

★2学年 学年主任 川口多加〔古典〕 担当クラス：22～25HR、27HR（文系）

ふだん生徒の様子を見ていて、受動的な態度が気になっています。多くの分野に対して「広く浅く」も必要ですが、ただそれだけでは何者でもない存在になってしまいます。自分の好きな分野においては多角的に研究したり、深く考察したり、粘り強く努力することもあってほしいものです。折に触れて、あなたは何が好きですかという質問をしていこうと思っています。

★21HR担任 砂子幸弘〔コミュニケーション英語Ⅱ・Ⅲ〕 担当クラス：21,22HR、3年梅、蘭組

新学年になって3カ月ほど過ぎました。新クラスの教室は一番北の校舎の3階にあります。職員室からも遠く離れているため離れ小島のような感じです。教師は移動が大変ですが子どもたちは結構楽しんでいよう。リラックスすることも大事ですがあまり羽目を外すことのないようにしてほしいと思います。中だるみも心配ですがこの1年どうぞよろしくお願ひします。

★22HR担任 鈴木瑶介〔数学A・Ⅱ・B・補講〕 担当クラス：15,16HR、22HR、27HR（理系）

今年度から聖星高校で勤務させていただくことになりました。教科は数学で、部活動は男子テニス部を担当しています。まだまだ慣れないところもあり、すぐには対応できないところもあるかもしれませんが、大人の階段を上る生徒たちの自主性を育て、サポートしながら一緒に成長していければと思っています。

★23HR担任 土屋敦〔保健・体育〕 担当クラス：21～27HR、3年梅、蘭、菊、竹組

私が、印象に残った次のような言葉がありました。それは「YouメッセージとIメッセージ」という2言葉です。Youメッセージというのは、「君は〇〇だね」という言い方です。「えらいね」「やればできるじゃないか」等です。一方Iメッセージというのは「君が●●だから私は▲▲だよ」という言い方で、例えば「君のがんばりを見ると私も元気になる」がそれです。心理学の世界では、Iメッセージというのは、相手の心に響く言い方であるとされています。そのような言葉をかけられる様にしていきたいです。

★24HR担任 木村維幸〔コミュニケーション英語Ⅱ〕 担当クラス：23,24,27HR

朝、教室に入ると単語テストの勉強をしている姿が見受けられます。それと同時に期末テストが近づいています。私は、同じことを何度も繰り返し取り組むことが大事だと考えています。単語テストの勉強のように、時間を作って、最後まであきらめずに対策してほしいと思います。夏休みの保護者面談もどうぞよろしくお願ひいたします。

★25HR担任 勝野有紀子〔生物〕 担当クラス：26,27HR、3年竹組、3年松組（選択者）

広報を担当しています。新聞などのメディアへ学校行事を中心に取材依頼を送り、取材来校してもらえるよう努めています。保護者や同窓生をはじめとする学校関係者や広く浜松市近郊の方々に本校の教育活動を知っていただくと嬉しいです。また、看護・医療・栄養系プログラム

の担当もしています。2、3年生の医療・栄養系の仕事に就くことを希望している生徒たちが配布された英語・数学・生物基礎・化学基礎の週末課題を自主的に行い、学力の向上を目指しています。限りある時間の中で、いかに学習時間を確保するかは本人の意思の強さにかかっています。「継続は力なり」です。

★26HR担任 小林太士〔物理・化学〕 担当クラス：26,27HR、3年松組

2年6組担任の小林です。担当教科は、理科。部活動は、男子バスケットボールとサイエンス部を担当しています。よろしくお願いします。教師として、生徒と関われることを常日頃幸せに思っています。苦しいことや嫌なことにも、負けることのないよう生徒を成長させたいと思っています。「やるべきことをしっかりとやる！これが何よりも近道です。」頑張りましょう！応援しています！

★27HR担任 清水あす香〔コミュニケーション英語Ⅱ〕 担当クラス：25～27HR

新年度が始まり3ヵ月、新たな環境に慣れてきた頃です。文化祭という大きな行事も終え、クラス内の相互理解も深まりました。楽しいこともあれば、大きな壁が立ちはだかることもある高校生活ですが、真っ向勝負をして多くの葛藤を乗り越えた生徒たちは大きく成長します。どんな時も彼らが前向きに物事に取り組めるよう、一生懸命サポートしていきたいと思えます。よろしくお願いします。

★2学年 学年付 小笠原祥子〔生物基礎・化学基礎・化学〕 担当クラス：14HR、27HR、3年竹組

総務係として、学習環境の整備や行事予定の取りまとめ、式典の運営などを行っています。終業式の日には夏期休暇予定表を生徒に配布しますのでご確認ください。8月8日(水)～10日(金)、16日(木)、17日(金)は休校日ですが、学習環境を提供するため、事前に申し出た生徒に対し、登校を許可しています。自習室として活用し、有意義な夏休みを送ってほしいと願っています。

★2学年 学年付 池山直樹〔数学Ⅱ・B・数学演習〕 担当クラス：21,25,26HR、27HR(文系) 3年松組(文系)

生徒の皆さんには何でも調べて考える習慣をつけてほしいです。

平安時代の古典の文中に私の苗字と同じ「池山」という言葉を見ることがありますが、奈良以前・鎌倉以後は見ません。ふつう「山」と対置されるものは「野」「海」「河」ですが、平安には「池」と「山」という括りがあったようです。身近なものでさえ調べると意外な発見があります。それを積み重ねていくのは楽しいことです。

★2学年 学年付 石川雅也〔保健・体育〕 担当クラス：24HR男子、25,26,27HR、3年全クラス

毎朝8時からの登校指導で、挨拶をしながら生徒の様子を見ていますが、楽しそうに登校してくる生徒が多く、生徒たちの笑顔に元気をもらっています。少しでも笑顔の生徒が増えていくように2学年の副担任としてサポートしていきたいと思えます。

TEL : (053) 454-5376 FAX : (053) 453-4719

学校ホームページ : 「<http://www.uminohoshi-h.ed.jp/>」